

2255

施設名	峰の原高原クロスカントリーコース	所在地	大字仁礼3153-654					
施設分類	スポーツ・観光系施設	所管課	産業政策課					
財産区分	行政財産	延床面積（㎡）	205					
居住誘導区域	非該当	防災関連施設	非該当					
設置根拠	須坂市峰の原高原クロスカントリーコース条例	設置の目的・経緯	体育の振興及び峰の原高原の活性化。				交通アクセス	須坂駅から車で約30分
事業内容	施設の維持管理・運営	貸付の有無	有	芝コース・全天候型トラック・全天候型トラック				
管理運営の状況	指定管理	委託内容	維持管理・運営					
備考（その他特記事項）								

吐衄

階数 (主たる建物)	地上	1	地下	-	建築面積	204.54	延床面積	205
構造 (主たる建物)	W造				建築年度 (主たる建物)	2004	築年数 (主たる建物)	21
帳簿原価	57,040,000				耐震化の状況	新耐震基準施設		
減価償却累計額	52,814,399				バリアフリー対応	×		
老朽化率	93.0%				省エネルギーの対応状況			
過去10年の改修費用	0				施設の劣化状況			
維持管理・更新投資の充足度	0.0%							

3 施設コスト

単位（千円）

費用		2023	2024	2025	3年間の平均値
	人件費	0	0	0	0
	委託料	0	0	0	0
	光熱水費	0	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	0
	減価償却費	2,335	2,335	2,335	2,335
	指定管理料	5,500	6,050	6,050	5,867
	その他	0	0	0	0
	費用合計	7,835	8,385	8,385	8,202

収入	利用料等収入	0	0	0	0.0
	国庫補助金等収入	0	0	0	0.0
	その他	0	0	464	154.7
収入合計		0	0	464	154.7

収支	-7,835	-8,385	-7,921	-8,047
利用者一人当たりコスト	0.42	0.44	0.42	0.43

修繕履歴	金額		内容	
改修履歴	金額		内容	
今後10年間での大規模改修費用				

4 施設利用状況

利用対象	特定の人（団体）に限定されていない	
開館時間	平日	5時から19時（4月から11月）
	休日	5時から19時（4月から11月）
休館日	12月から3月	
駐車場の有無	有	

	2023	2024	2025	3年間の平均値	平均と2025の比較
年間利用者数	18,573	18,913	19,866	19,117	4%
年間利用可能人数					
利用率					
（参考）年間目標利用人数					
年間利用時間					
年間利用可能時間					
稼働率					

公共施設評価結果シート

施設名施設名称	峰の原高原クロスカントリーコース
---------	------------------

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価	A	2	平均と比較してかなり少ない（50%未満）
合計		2	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない（50%未満）
	B	1	平均と比較して少ない（50%以上100%未満）
	C	0	平均と比較し同規模（100%以上150%未満）
	D	-1	他施設と比較して多い（150%以上200%未満）
	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
貸館稼働率			
合計		2	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った（-5%以上）
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った（-10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館稼働率 【B】パターン	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	C	-1	75%以上100%未満
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
バリアフリー	B	-1	車いすでの移動が困難
合計		0	

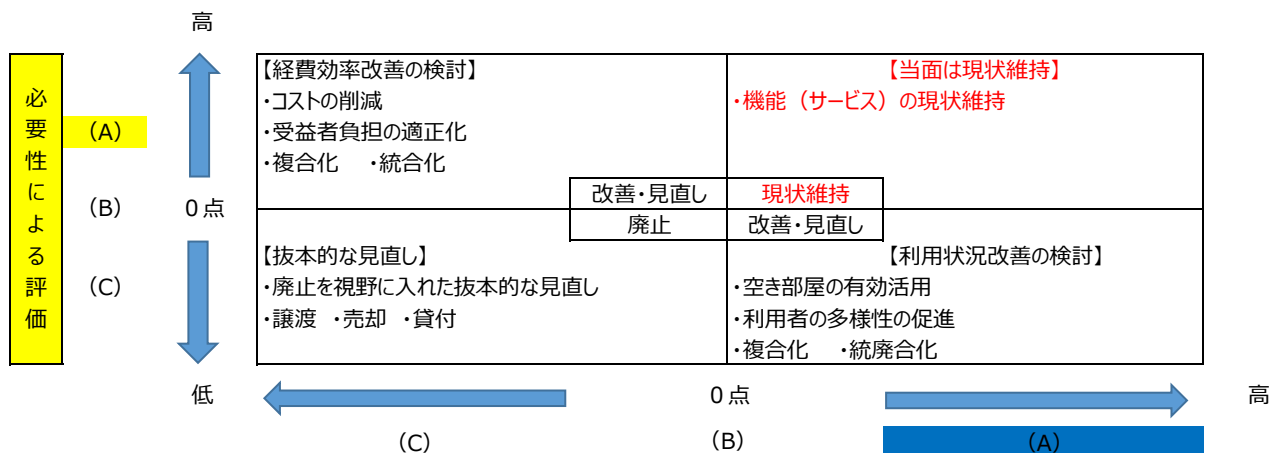
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	車いすでの移動が可能
	B	-1	車いすでの移動が困難

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	2
縦軸	必要性による評価	2
合計点数		4

【当面は現状維持】

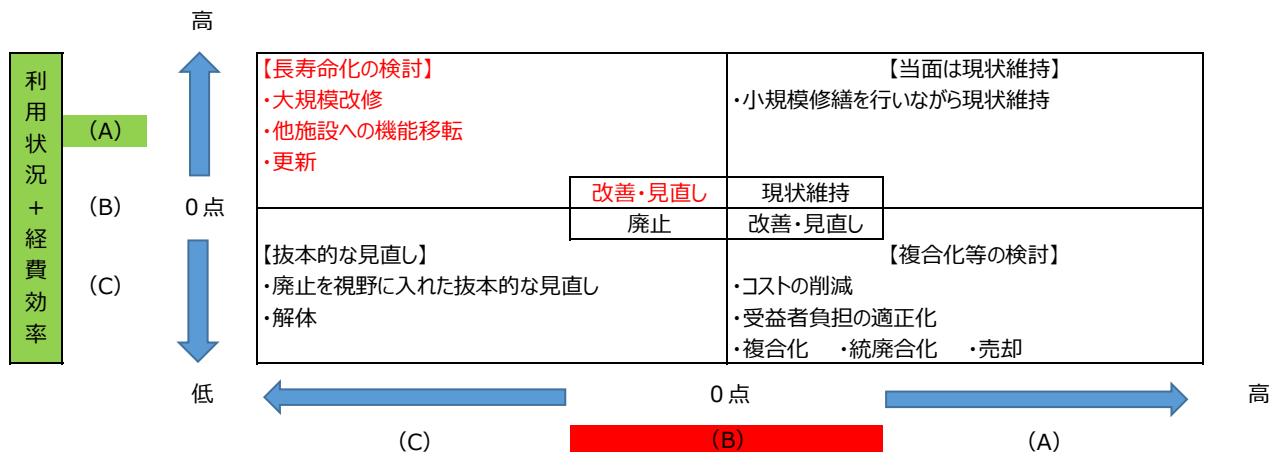


評価	説明
A	評価結果の集計点が、1点以上
B	評価結果の集計点が、0点
C	評価結果の集計点が、-1点以下

3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方角性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	0
縦軸	必要性和経費効率からの評価	4
合計点数		4

【長寿命化の検討】



評価	説明
A	評価結果の集計点が、1点以上
B	評価結果の集計点が、0点
C	評価結果の集計点が、-1点以下